



サイクル・エイド事業

平成 28 年度 事業報告書



自転車がつなぐ国際交流 タイ

公益社団法人 アジア協会アジア友の会



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助金を受けて実施しました
<http://ringring-keirin.jp>



《目次》

1. 事業の概要	1
2. 公益法人 アジア協会アジア友の会について	1
3. 平成28(2016)年度事業報告	2
(1)自転車の寄贈	2
(2)事業推進のための広報活動の実施	6
(3)国際交流プログラム	7
◆サイクル・エイド事業 写真	9

【資料】

サイクル・エイド支援会議 規約	16
サイクル・エイド支援会議 委員名簿	17
サイクル・エイド事業の経過	18
サイクル・エイド事業実績の推移	19

1. 事業の概要

「放置自転車を再生し、世界の子どもたちに贈ろう！」を合言葉に誕生したサイクル・エイドは、放置自転車を府内市町村の協力のもと、修理、再生し、海外の子どもたちに贈る事業である。

大阪府内の放置自転車の数は、年間 50 万台に上り、うち約半数は引き取り手がないために大きな社会問題、環境問題となっている。一方、アジアやアフリカでは学校の数がないため、長時間歩いて学校に通うか、遠すぎるために通学できない子どもたちが数多くいる。

こうした子どもに自転車を贈ることで、教育環境の向上などに寄与し、国際交流の絆を深めることをこの事業の目的とする。放置自転車を修理、再生し、リユースの好循環によって、大阪府内の環境負荷を軽減し、資源循環型社会に向けて地球環境に優しい自転車の活用を促進することを目指す。

2005 年度より、本会が事務局として事業を実施。大阪府等がメンバーとなったサイクル・エイド支援会議を設置し、事業を円滑に進めていくようサポートしている。

(参考：資料「サイクル・エイド支援会議規約」
「サイクル・エイド支援会議委員名簿」)

2. 公益社団法人アジア協会アジア友の会について

公益社団法人アジア協会アジア友の会は、アジアに暮らす人々のネットワークを通じて「貧困なきアジア共同体」の形成を目指す、国際民間協力団体(NGO-Non Governmental Organization)である。生命にとって最も大切な水、飲料水の欠乏が深刻なアジアに井戸を贈る運動として 1979 年に発足した。

現在、それぞれの地域に見合った活動をよりきめ細かに行うために、アジア 18 ヶ国 69 ヶ所にある現地提携団体とネットワークを形成し、その中央事務所を大阪においている。

アジアの人々との「理解と協力と連帯」を目指して、安全な飲料水(井戸)供給のほか、植林、教育、生活向上などの様々な自立開発協力事業、各国ボランティア団体の育成、国際交流活動(ワークキャンプ等)の推進、国際理解教育、また地球の自然環境保全活動を主たる事業として活動している。



3. 平成 28 (2016) 年度事業報告

(1) 自転車の寄贈

◆自転車の提供 計 750 台

放置自転車を収集するために、府内各市町村へ協力の呼びかけを実施。今年度は下記の 6 市から協力を得ることができた。回収された自転車は各市で選別、修理、再生後に泉大津市にある堺泉北港へ運搬され、海上輸送された。

◆府内協力市及び台数

堺市 200 台、八尾市 200 台、阪南市 100 台、
泉大津市 50 台、泉佐野市 100 台、大阪市 100 台

今年度はタイに 375 台、フィリピンに 375 台、合計 750 台の自転車が寄贈された。事業開始以来、アジア、アフリカの 10 カ国に合計 30,073 台の自転車を贈ることができた。

タイ	375 台
----	-------

タイに贈られた自転車は、ナン県の子ども達の通学に加え、医療従事者の巡回、貧しい農民、環境保全の活動に従事する人々に手渡され、有効に活用されている。

10 月に贈られた自転車はタイ・サイクルエイド委員会のメンバーの手によって北部のナン県まで届けられ、学校や地域のコミュニティセンターで順次自転車贈呈式典が行われた。12 月 18 日に行われた式典では子ども達へ 1 台ずつ自転車が手渡され、自転車を大切にしてお勉強に励み、地域の教育や福祉環境の向上、地球環境保全に地域が協力し取り組むことについて話し合われた。贈られた自転車によって、それまで毎日通学することができなかった子ども達が通学できるようになり、また仕事の効率化、生活の改善をも可能にし、村人たちが自立への第一歩を踏み出せるようになった。また、環境保全に取り組む具体的な活動として、子ども達に自然の成り立ちや有機栽培についての教育プログラムをおこなった。子ども達をはじめ、地域で意識を変え、協力しながらより良い地域づくりが進められている。

NGO、行政、村人、学校の先生、保護者等が世代、国境を越えて協力していくよいきっかけとなった。

また地球環境保全への意識を高めることで、同じ地球市民としての視点を持ち、互いに協力しあう国際交流の推進活動を拡げていくことが期待される。自転車を通じて、日本と

各国の国際交流が活発になり、また、事業を継続することで人と人の絆が深まり、草の根の理解と協力の輪が広がってきている。

※注1

◆タイ・アジア友の会=TAFS (Thai Asian Friendship Society)

責任者：ニラン・チャンタ氏 所在地：タイ・バンコク市

活動範囲：タイ国全域 基本的目標：貧しい人々の生活改善と教育支援

【沿革】タイで最も貧しい10県の1つであるナン県出身のニラン・チャンタ氏が、北部タイの窮状を支援するため、1994年に発足。バンコクに事務所をおき、ナン県、チェンマイ県、ランプーン県、チェンライ県、ランパーン県、ノンタブリ県に各部会を持つ。部会と相互に協力しながらトイレや給水タンクの建設、学校や寄宿舎の建設を通じて、貧農の子ども達の教育支援、農村生活改善、国際交流等を行っている。

平成17年度よりサイクル・エイド事業を通して、地域の環境教育、自然環境保全に積極的に取り組んでいる。

【活動】農村生活改善、教育支援、国際交流、環境保全等



タイ寄贈先 地図

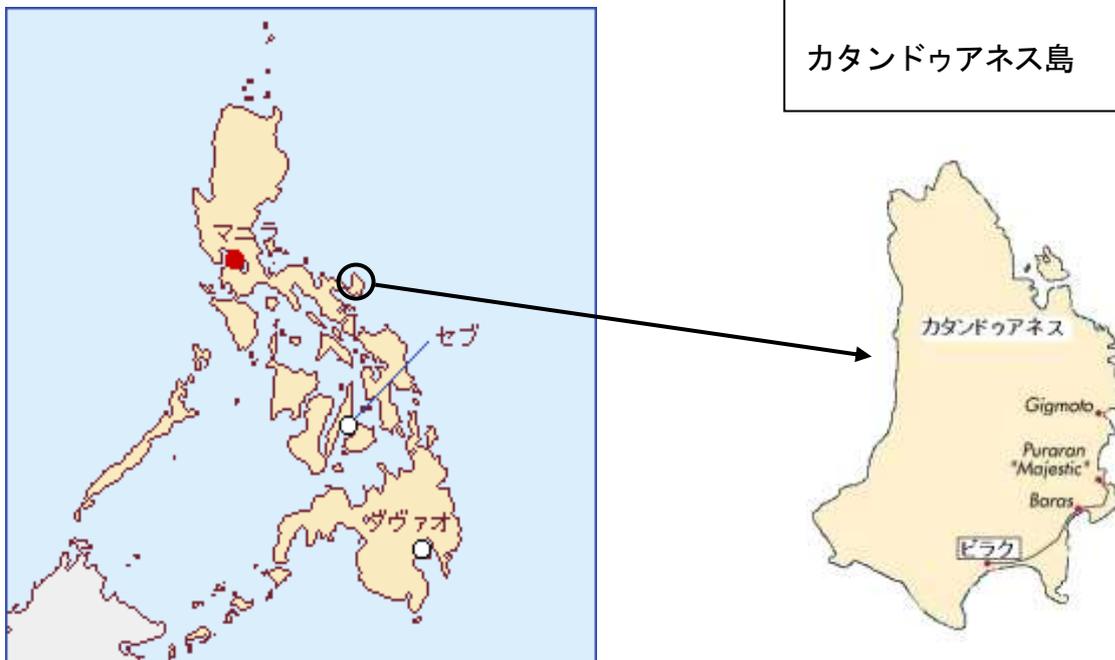
フィリピン 375 台

フィリピンに贈られた自転車は、学校に通う子ども達や先生、地域のコミュニティワーカーや自警団を中心に寄贈され、通学や仕事のために活用されている。

自転車の利用で地域の農民達が効率よい生活環境に変えていくことにより、社会進出や生活向上へつながっている。また、勉強を続けたいが、家庭の経済的状況のため毎日の通学や進学をあきらめていた小・中・高校生の子ども達にも寄贈され、毎日安全に通学し、継続した教育を受けることができるようになった。

自転車の寄贈は、公平またより必要とされている人々に贈れるよう、政府、現地 NGO、村の組織等で協力体制をとりながら、取り組んでいる。カタンドゥアネス州はフィリピンの東に位置していることから毎年多くの台風が訪れ、深刻な被害が出ている。定期船が出ないときには生活インフラが止まってしまう状況に陥ってしまうが、ガソリンを必要としない自転車は貴重な運搬手段として災害時にも役立てられている。

3月14日～20日にはカタンドゥアネス州で国際交流プログラムが行われ、様々な意見交換がおこなわれた。



フィリピン寄贈先 地図

※注1

◆アジア友の会 ビラク支部 (Asia Friendship Society - Virac, Catanduanes)

代 表 者 : ローランド・グロバット氏

所 在 地 : フィリピン・ビコール州カタンドゥアネス島ビラク町

活動範囲 : フィリピン・ビコール州カタンドゥアネス島

目的・基本活動・プログラム :

1、フィリピンの人々の生活向上・福祉制度の改善の為のプロジェクト
(井戸・パイプライン建設)

2、国際問題理解についてプロジェクト

3、国際異文化理解についてのプロジェクト

4、青年海外研修とリーダーシップトレーニングについて

5、政府・NGOによる健康管理・医学知識・地域運営・プロジェクト
運営のためのトレーニング

6、環境保全プロジェクト



(2) 事業推進のための広報活動の実施

① 事業 PR 用パネル・パンフレットの活用

事業の説明や写真を載せたパネルやパンフレットを活用し、イベント等で広く一般への広報活動をおこなった。

② 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 HP による情報発信

<http://jafs.or.jp/action/cycle-aid/>

大阪府 HP による情報発信

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kokusai/cycleaid/>

③ 広報媒体による情報発信

JAFS 機関紙「アジアネット 130 号」に掲載し、協力者をはじめ様々なプログラムで配布し、活動について紹介した。

④ 各種イベントとの連携、企業への協賛金依頼

大阪府自転車軽自動車商業協同組合からは修理キットの無償提供、港までの運搬のご協力をいただいた。

さらに下記イベントにおいてサイクル・エイド事業の活動紹介を行い、募金活動、協力の呼びかけ等を実施した。

サイクル・エイド関連国内プログラム

◆ サイクル・エイド支援会議開催・意見交換・事業報告会

日程：2016 年 6 月 7 日(火) 場所：大阪府

参加者：12 名

内容：寄贈先での自転車利用状況や活用方法について報告会をおこなった。現地で自転車を必要としている村の様子や子ども達を取り囲む環境についてより深く知ってもらいことができた。また、この事業から派生して環境保全の取り組みや、地域の他の事業への協力体制も徐々に強まってきていることから、事業を継続しておこなっていくこととなった。

◆ 泉大津フェニックス野外コンサート

日程：2016 年 8 月 27 日(土)、28 日(日)、
9 月 3 日(土)、10 日(土)、11 日(日)

場所：泉大津フェニックス

主催：泉大津フェニックス夏フェス 16 実行委員会事務局

来場者数：合計 約 72,000 人

<内容>

泉大津フェニックスが誕生した新しい町「夕凧町」では、空と海、そして全面芝生という心地よい空間で、野外コンサート等各種イベントが開催されている。今年度はRUSHBALL2016、OTODAMA'16～音泉魂～、OSAKA HAZIKETEMAZARE FESTIVAL 2016が開催され、多くの音楽ファンを魅了した。コンサート主催者の多大なる協力のもと、会場内のブースでサイクル・エイド事業の活動紹介とチャリティバザーをおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

◆ 泉大津市交通安全大会

日程：2016年9月26日(木) 場所：泉大津市

主催：泉大津市交通安全推進協議会

忠岡町交通安全推進協議会

後援：泉大津市・忠岡町・泉大津警察署・泉大津交通安全協会

<内容>

泉大津市交通安全大会の会場で、サイクル・エイド事業の広報活動として展示と活動紹介、募金活動をおこなった。多くの方に来場いただき、事業への協力を得ることができた。

◆ 四條畷市民の集い

日程：2016年10月23日(日) 場所：四條畷市

主催：市民憲章推進協議会

<内容>

第42回市民の集いの会場で、サイクル・エイド事業の広報活動として展示と活動紹介をおこなった。また、アジアの民芸品や飲食の販売をおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

(3) 国際交流プログラム

【フィリピン料理教室】

日程：2016年4月12日(火)、21日(木)

場所：クレオ大阪西 参加者：27名

内容：寄贈国の料理を通じて、楽しく身近にその国を理解できるよう、日本に住むフィリピン人を講師に迎え、料理教室をおこなった。参加者は家庭料理を学びながら、フィリピンの習慣や文化等についても話を聞き、プロジェクトの背景についても知ることができた。

【タイ料理教室】

日程：2016年10月4日(火)、20日(木)

場所：クレオ大阪西 参加者：29名

内容：寄贈国の料理を通じて、楽しく身近にその国を理解できるよう、日本に住むタイ人を講師に迎え、料理教室をおこなった。参加者は家庭料理を学びながら、タイの習慣や文化等についても話を聞き、プロジェクトの背景についても知ることができた。

【フィリピン 国際交流プログラム】

日時：2017年3月14日(火)～20日(月・祝)

場所：フィリピン カタンドゥアネス州

参加者：約200名

内容：自転車寄贈先であるフィリピン カタンドゥアネス州で行政・学校（教師・保護者・子ども）・農民等の村人達を対象に、現地提携団体とともに本事業の目的・目指すところ・事業内容等の紹介、説明をおこなった。

本事業に関係する様々な分野の協力者と意見交換を行うことで、今後の事業の必要性や進め方や取り組みについて話し合うことができた。また、共に地球や地域の環境保全について意見交換をおこない、次世代のために村全体で自然を残していけるよう継続した活動をおこなっていく思いをあらたにした。環境の専門家から村人たちに木々に関する知識や家庭菜園の指導をおこない、参加者全員で植林をおこなった。期間中にはホームステイをし、日本とフィリピンの互いの国の文化や生活習慣、考え方等を知ることで、今後の友好協力関係もより強固になっていくと思われる。

※この事業は競輪の補助を受けて実施しました。





一台ずつ確認しながらコンテナに積み込む（大阪府 泉大津市）



サイクル・エイド自転車贈呈式典（タイ ナン県）



自転車を贈られ笑顔の子ども達（タイ ナン県）



自転車によって学校に毎日通えるように（タイ ナン県）



事業について子どもや村人達に説明（タイ ナン県）



環境保全プログラムで自然のなりたちについて学ぶ（タイ ナン県）



環境保全プログラムとして子ども達に有機農法の指導（タイ ナン県）



みんなで作ったご飯をいただきます（タイ ナン県）



小学校で国際交流プログラム（フィリピン カタンドゥアネス州）



学校の先生方と教育環境について意見交換会（フィリピン カタンドゥアネス州）



環境保全のための植林活動（フィリピン カタンドゥアネス州）



日本とフィリピンのアイデア知恵をしぼり植林（フィリピン カタンドゥアネス州）



タイ料理教室 国際交流プログラム（大阪府大阪市）



泉大津市交通安全大会にて普及啓発活動（大阪府泉大津市）

サイクル・エイド支援会議規約

(名称)

第1条 本会は、サイクル・エイド支援会議という。

(目的)

第2条 本会は、大阪府内に放置されている自転車等を再生し、これをアジア・アフリカをはじめ、自転車が必要とする子ども達等に贈る、社団法人アジア協会アジア友の会が実施するサイクル・エイド事業が、円滑に推進できるよう助言及び支援を行うことを目的とする。

(組織)

第3条 本会は、前条に掲げる目的に賛同し、推進する関係団体（以下「構成団体」という）をもって組織する。

(委員)

第4条 構成団体を代表する者をもって委員とする。
ただし、委員は代理をもって充てることができる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員)

第6条 1 本会に、次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 事務局長 1名

2 委員長及び副委員長は、委員の中から互選により選任する。

第7条 1 委員長は、本会を代表し、会務を統括する。
2 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。
3 事務局長は、社団法人アジア協会アジア友の会の事務局長をあて、本会の事務を司る。

(顧問)

第8条 本会に、顧問を置くことができる。

(専門部会)

第9条 本会に、次の専門部会を置く。

- (1) 資金調達部会
- (2) 物資調達部会

(会議)

第10条 必要に応じ、会議を開催する。

附則 この規約は平成17年4月1日から施行する。
この規約は平成21年3月25日から施行する。(一部改正)

サイクル・エイド支援会議委員名簿

平成 29 年 3 月

〔委員長〕

松井 一郎 大阪府知事

〔副委員長〕

萩尾 千里 公益社団法人 アジア協会アジア友の会会長

〔委員〕

小高 将根 公益財団法人 大阪国際交流財団 理事長
児玉 達樹 大阪商工会議所 常務理事兼事務局長
竹山 修身 堺市長
阪口 伸六 大阪府市長会 会長（高石市長）
中山 行男 大阪府自転車軽自動車商業協同組合 理事長
野澤 隆寛 一般財団法人 自転車産業振興協会 会長
堀井 良殷 公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会 理事長
松本 昌親 大阪府町村長会 会長（千早赤阪村長）
吉村 洋文 大阪市長
渡辺 恵次 一般社団法人 自転車協会理事長

〔事務局長〕

村上 公彦 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 事務局長
〔事務局：(公社) アジア協会アジア友の会内〕

〔顧問〕

アンドリュース ヤング 元アトランタ市長
下中 融 元熊取町長
永山 一郎 特定医療法人三和会 会長
向江 昇 元泉佐野市長

*委員。顧問は五十音順

サイクル・エイド事業の経過

- 平成9年4月：アトランタ市の元市長、元米国国連大使であるアンドリュー・ヤング大使の呼びかけに応え、大阪府、関係市等で委員を構成するサイクル・エイド委員会を発足。
- 平成15年8月：第11回サイクル・エイド委員会で、今後の運営のあり方について検討を行うことを決定。
- 平成16年8月：第12回サイクル・エイド委員会において、平成17年度からサイクル・エイド事業を、社団法人アジア協会アジア友の会が主体となって実施することを了承。
- 平成17年3月：サイクル・エイド支援会議準備会議開催。
- 平成17年4月：社団法人アジア協会アジア友の会が実施主体となるサイクル・エイド事業がスタート。また、サイクル・エイド事業の円滑な推進を図るための支援を行う「サイクル・エイド支援会議」が発足。

サイクル・エイド事業実績の推移(単位:台)

2017年3月31日

年度(年)	平成9~16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計	
西暦	1997~2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016		
寄贈自転車台数	15,706	1,890	2,155	2,167	1,550	1,890	680	410	740	701	731	753	750	30,073	
寄贈先	南アフリカ	11,073												11,073	
	(コンテナ本数)	*134												*134	
	フィリピン	1,080	579	1,090	807	880	510	350		350		350	353	375	6,724
	スリランカ	1,150	807												1,957
	カンボジア	683	504	725	680							381	350		3,323
	タンザニア	1,180													1,180
	イスラエル	340													340
	タイ			340	340	670	1,380	330	370	350	701			375	4,856
	ベトナム				340										340
	マダガスカル	200													200
	東日本大震災被災地								40	40					80

年度(年)	平成9~16年	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計	
西暦	1997~2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016		
協力市寄贈数	16,556	1,040	2,155	2,167	1,550	1,890	680	410	740	701	731	703	750	30,073	
提供市	堺市	7,057	440	935	940	320	360	140	80	210	200	200	204	200	11,286
	泉佐野市	2,832	100	300	200	200	200							100	3,932
	八尾市	2,325		200	220	280	510	200	100	270	200	200	209	200	4,914
	松原市	1,280	200	150	150	110	200								2,090
	阪南市	542	120	120	120	150	120	120	100	120	101	100	100	100	1,913
	吹田市	500	100	45											645
	大阪市	612									100	100	100	100	1,012
	泉大津市	300		100	101	130	200	100	50	100	100	100	90	50	1,421
	藤井寺市	299													299
	泉南市	51	80	155	156										442
	箕面市	285													285
	柏原市	250													250
	高石市	30		150	200	120	180	80	30						790
	貝塚市	100													100
	豊中市	50													50
	寝屋川市	50			80	240	150								520
	和泉市	20													20
	四條畷市							30	40	40		30			140
	民間	3											1		4
	保管						-20	10	10						0
スクラップ	-30					-10								-40	



平成 29 年 6 月発行

編集・発行 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F

TEL : 06-6444-0587 FAX : 06-6444-0581

ホームページ : <http://www.jafs.or.jp> E - メール : asia@jafs.or.jp